

第71回 卒業式



3月20日(月)、第71回東五条小学校卒業式を開催し、52名の6年生が、東五条小学校を巣立っていきました。

今年度の卒業式は、4・5年生は体育館で一緒に、1～3年生は各教室で校内放送を通して卒業生の門出を見守り、みんなでお祝いをしました。

式では、卒業生一人一人が堂々とした姿、晴れやかな表情で、校長先生から卒業証書を受け取っていました。凛々しい先輩の姿は、在校生の心にも強く残ったことでしょう。

感染症の影響で、小学校生活後半の3年間は、様々な制約の中での学びでした。しかし、そのような中でも、決して諦めることなく、前向きな気持ちで工夫しながら活動したり、仲間と協力したりする姿が見られました。この経験は、一人一人にとってこれからの人生の大きな財産となるに違いありません。

6年間の学びを終え、新たな人生のスタートを切った卒業生に、心からお祝いの拍手とエールを送りたいと思います。



1組担任 高原 隼希



2組担任 中村 洸貴 コスモス担任 佐藤 千晶

令和四年度 全国学力・学習状況調査の結果から

四月に行われた「令和四年度全国学力・学習状況調査」の結果について、本校の概要をお知らせいたします。なお旭川市全体の分析結果につきましては旭川市のホームページに掲載されていますので、ご参照ください。《○：成果、△：課題》

《**国語**》
 ○全五領域のうち、四領域で全国平均を上回る結果でした。
 ○「書くこと」と「我が国の言語文化に関する事項」の内容の設問がよくなっていました。
 △互いの立場や意図を明確にしながらかつ話し合い、考えを広げることや、感想を伝えることが「気付け」設問に課題がありました。

《**算数**》
 ○全四領域のうち、一領域において全国平均を上回り、二領域は全国平均と同水準の結果でした。
 ○百分率や割合などの「変化と関係」の領域の設問がよくなっていました。
 △問題場面の数量関係を式に表すことや、目的に応じてデータの特徴を捉える設問に課題がありました。

《**理科**》
 ○全四領域のうち、二領域において全国平均を上回り、二領域は全国平均と同水準の結果でした。
 ○「エネルギー」「生命」を柱とする領域や設問ができていました。実験の結果を基に記述する設問に課題がありました。

《**社会**》
 ○課題に「きま」は、二学期に再履修の場を設けてまいりました。次年度も、各学年の学習内容との関連性系統性を確認しながら、丁寧な指導を積み重ねていきます。

《**児童質問紙**》
 ○人の役に立つ人間になりたいと思っている。
 ○友達と協力するのは楽しいと思っている。
 △自分には、よいところがあると思っている。
 △自分で計画を立てて勉強している。

《**今後に向けて**》
 △今後に向けては、全教職員で共有し、やり遂げる喜びや仲間と協力する楽しさをより一層実感できる場を工夫していきます。また、よい行動などよさを認め、励ますことを通して、児童一人一人の自己有用感や自己肯定感を高めていきます。

《**児童質問紙**》
 ○本日は、児童の不安や悩み相談窓口に関する文書を配付しました。お父さんと一緒に確認ください。《各種相談窓口につきましては、旭川市ホームページに掲載されています。旭川市立東五条小学校 学校いじめ防止基本方針にも掲載しています。》



「一枚の写真」から

校長 三浦 一路

校舎の窓から柔らかな日差しが差し込み、春の訪れを感じさせる頃となりました。

3月20日には、ご来賓、保護者・地域の皆様方にご臨席をいただき、第71回卒業式を終えました。保護者の方すら式場に入れられず、一部の教職員と卒業生だけで内容を縮小して実施した令和2年度の卒業式。令和3年度の卒業式も内容の縮小は続きましたが、保護者の皆様には式場でお子様たちの晴姿をご覧いただくことができ、大きな前進でした。そして迎えた今年度の卒業式には、更に在校生を代表して4、5年生が式場で卒業式に参加することができました。1～3年生は教室でオンラインの映像を見ながらの参加でした。新型コロナウイルスの影響を大きく受けながらも、かつて憧れた6年生のような高学年として行動しようと、明るい笑顔で責任を果たしてくれた卒業生をみんなで祝福できたことが何よりでした。

暖かな春の日差しの中、よい顔で巣立っていった6年が、幸福な人生を歩み続けられるよう願うばかりです。

中学校の教科書にも載った詩「夕焼け」で知られる吉野弘さんは、浜田省吾さんの曲や山田太一さんの著作にも影響を与えたとされる詩人です。卒業式後、校門付近で友達や立て看板とともに写真を撮ってもらっている卒業生を見て、その吉野さんの「一枚の写真」という詩の一節を思い起こしました。一部分の紹介で作者に怒られそうですが…。

【※前略】

この写真のシャッターを押したのは
多分、お父さまだが
お父さまの指に指を重ねて
同時にシャッターを押したものがいる
その名は、「幸福」

【※後略】

まさに、スマートフォンのシャッターのボタンを押すご家族の指の上には、「幸福」という指が重なっていたことと思います。今は、「一枚の写真」にすることは珍しくなったのですが、データであっても後から子供たちが見返したときには、その写真に込めた親の愛情を感じ、子供たちは改めて感謝の気持ちを強くするのでしょうか。

子供たちが健やかに成長していくためには、その基盤となる心理的安全性が欠かせません。その心理的安全性は、多くの方の「愛」によって育まれていきます。わが子の幸福を強く願う親の思い。山あり谷ありの人生を自分の力でたくましく歩いてほしいと願う教師の思い。そうした子供の成長に係る大人の「愛」を感じながら、子供たちは一步一步階段を上り、自立していきます。

密回避のために過去2年控えていただいていた、こうした写真撮影の風景を見るにつけ、学校として改めて子供たちの健やかな成長を大切に考えなくては、という思いを強くいたしました。

おかげさまをもちまして、令和4年度の東五条小学校の一年間が本日をもって終了します。本年度も、大きな事故もなく無事終了できましたのも、ひとえに、保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力の賜と感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

令和5年度に向けては、一步一步ではありますが、学校での新たな生活様式を踏まえ、置かれた状況の中で子供たちの成長を最大限に引き出させるよう、一つ一つの教育活動を大切に考え、実施してまいりたいと思います。

新年度も、改めまして本校の教育活動に深いご理解をお願いいたします。

学校だより

東五条

令和5年3月

東五条小学校発行
第262号

東五条小学校
教育目標

かしこさ

ゆたかさ

たくましさ